
実務担当者会議報告

平成 19 年度カルチャーコレクション実務担当者会議
— 「培地について」 — 報告

日本微生物資源学会
実務担当者会議・世話人代表
高島昌子

(独立行政法人理化学研究所 バイオリソースセンター 微生物材料開発室)

平成 19 年度の実務担当者会議は第 14 回日本微生物資源学会大会期間中の平成 19 年 6 月 25 日 13 時より 14 時 30 分まで、北海道大学学術交流会館第 1 会議室において開催された。会議には機関会員 16 機関から、オブザーバーを含めると約 50 名が参加した。

今回は「培地について」をテーマとした。培地は微生物株を扱う際には必須のものである。微生物系統保存機関に寄託・保存される多様な微生物に対して、いかにして最適な培地を準備することができるか、また再現性よく作製することができるか、ということは微生物株の品質に直接影響を及ぼすものである。そこで会議では、微生物株の品質管理についても考えることができればと願い、以下の講師の方々に培地とその管理について話題提供を依頼した。

田中憲志（日本製薬株式会社ライフテック部）

「培地の製品化について～製造管理と品質管理を中心に～」

恵良田知樹（北海道大学大学院工学研究科）

「生物に影響をおよぼす物理的・化学的特性の異なる水は存在するのか？」

各講演の後、講師から紹介された培地やその管理方法に関して、出席者との質疑応答が活発に行われ、貴重な情報交換の場となった。これらの質疑応答については抜粋を話題のページの最後の部分に加えさせていただいた。これらの情報が、各機関の微生物株の品質管理に活用されれば幸いである。